※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）国語基礎	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会生活に必要な国語の基礎的な国語能力を身につけ、適切に表現する能力を育成し、言語感覚を磨くことによって、社会生活の充実を図る態度を育てることを目指す。
・定期的に実施する小テストを通して、国語の基礎力を磨きます。学習状況（発言、授業の取り組み、態度）・ワークプリント・ノート・課題により、総合的に評価します。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 豊かな語彙力と語句の正しい用法に関する知識を養うことで、生涯にわたる社会生活に必要な国語を適切に使うことできるようにする。
(2) 他者との関わりの中で伝え合う力を高めるとともに、論理的な思考力や豊かな想像力を養う。
(3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基本的・基礎的な言語の学習ができるか生徒が取り組み易いようなプリントを作成できているかを鑑み、各自のペースにあわせて学力の向上を図ろうとする。	・各自のペースにあわせ、相手や目的・意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深める。	・国語、特有の表記法や表現・語彙などがあることに主体をおいて取り組ませる。また,言語文化の背景について理解させ、社会に関わる態度を養い、思考力や想像力を豊かにする態度を育てる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期	漢字･自己紹介文 ・自己紹介文、対話 ・基礎的な漢字の読み・書き	ａ：伝わりやすい言葉を選び、言葉を平均的な語彙から選んでいる。 ｂ：漢字や言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。 ｃ：漢字に興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	故事成語･ことわざ ・故事成語 ・ことわざ	ａ：故事成語に興味をもち、実際に使ったり調べたりしようとしている。 ｂ：実際に興味をもつ故事成語を書写し、理解を深める。 ｃ：それぞれの内容を表す故事成語･ことわざ･金言などを理解しようとしている。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	四字熟語･体験文 ・四字熟語 ・生徒生活体験文の取り組み	ａ：四字の漢字が結合して、一語として習慣的に使われていることを理解している。 ｂ：他の人の体験談を読み味わうことによって、自己の文体を深める。 ｃ：故事からできた四字熟語を理解でき、自主的に学習活動に取り組む。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	俳句･辞書 ・俳句 ・辞書を活用する。 （国語・漢和・古語）	ａ：機知と滑稽、遊びの精神が文芸を理解しようとしている。 ｂ：優れた俳句などに触れ、俳諧の世界を鑑賞する。 ｃ：辞書を活用し、季語･季節など自分なりの俳句を作成している。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	手紙文･読書指導 ・手紙・はがきの書き方 ・読書指導（好きな作家の文体を読む。）	ａ：例文を参考に、形式を意識して書くことができている。 ｂ：敬語表現に気をつけて書くことができ、時候の挨拶なども理解している。 ｃ：例文に従って、目的に応じた手紙・はがき等に取り組むことができる。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度